

▲ 使用上の注意

❌ してはならないこと

解熱鎮痛薬

(守らないと現在の症状が悪化したり、副作用・事故が起こりやすくなる)

1. 次の人は服用しないこと。(1)本剤又は本剤の成分によりアレルギー症状を起こしたことがある人。(2)本剤又は他の解熱鎮痛薬、かぜ薬を服用してぜんそくを起こしたことがある人。(3)授乳中を服用している間は、次のいずれの医薬品も服用しないこと。他の解熱鎮痛薬、かぜ薬、鎮静薬、重曹、解熱剤
3. 服用後、乗物又は機械類の運転操作をしないこと。(眠気等があらわれることがある)。
4. 服用前後は飲酒しないこと。
5. 長期服用しないこと。

■ 相談すること 1. 次の人は服用前に医師、歯科医師、薬剤師又は登録販売者に相談すること。(1)医師又は歯科医師の治療を受けている人。(2)妊婦又は妊娠していると思われる人。(3)授乳中の人。(4)水道(水ぼうそう)若しくはインフルエンザに感染している又はその疑いのある乳・幼・小児(15歳未満)。(5)高齢者。(6)薬などによりアレルギー症状を起こしたことがある人。(7)次の診断を受けた人。心臓病、腎臓病、肝臓病、胃・十二指腸潰瘍

2. 服用後、次の症状があらわれた場合は副作用の可能性があるので、直ちに服用を中止し、この文書を持って医師、薬剤師又は登録販売者に相談すること。
皮膚：発疹・発赤、かゆみ、消化器：吐き気・嘔吐、食欲不振、精神神経系：めまい、その他：過度の体温低下
まれに下記の重篤な症状が起こることがある。その場合は直ちに医師の診療を受けること。

症状の名称	症 状
ショック (アナフィラキシー)	服用後すぐに、皮膚のかゆみ、じんましん、声のかすれ、くしゃみ、のどのかゆみ、息苦しさ、動悸、意識の混濁等があらわれる。
皮膚粘膜眼症候群 (スティーブンス・ジョンソン症候群) 中毒性表皮剥離症候群 急性汎発性発疹性膿疱症	高熱、目の充血、目やに、唇のただれ、のどの痛み、皮膚の広範囲の発疹・発赤、赤くなった皮膚上に小さなアブツツ(小膿疱)が出る、全身がだるい、食欲がない等が持続したり、急速に悪化する。
薬剤性過敏症候群	皮膚が広い範囲で赤くなる、全身性の発疹・発熱、体がだるい、リンパ節(首、わきの下、股の付け根等)のはれ等があらわれる。
肝機能障害	発熱、かゆみ、発疹、黄疸(皮膚や白目が黄色くなる)、褐色尿、全身のだるさ、食欲不振等があらわれる。
腎障害	発熱、発疹、尿量の減少、全身のむくみ、全身のだるさ、関節痛(節々が痛む)、下痢等があらわれる。
間質性肺炎	階段を上ったり、少し無理をしたりすると息切れがする・息苦しくなる、空咳さ、発熱等がみられ、これらが急にあらわれたり、持続したりする。
ぜんそく	息をするときゼーゼー、ヒューヒューと喘る、息苦しい等があらわれる。

3. 服用後、次の症状があらわれることがあるので、このような症状の持続又は増強が見られた場合には、服用を中止し、この文書を持って医師、薬剤師又は登録販売者に相談すること。眠気
4. 5〜6回服用しても症状がよくならない場合は服用を中止し、この文書を持って医師、歯科医師、薬剤師又は登録販売者に相談すること。

2包(1包1g×2)入

使用期限

副作用被害救済制度 ☎ 012011491931

第②類
医薬品

TRADE



MARK 解熱鎮痛薬



非ピリン系

ぶつろ
ノヤカ

Manufactured by
Yamato Gendo Seiyaku Co., Ltd.

成分及び分量 1日量(2包(2g))中

日局	アセトアミドフェン……………600mg	添加物としてヒドロキシプロピルセル
日局	エテンザミド……………600mg	ロース、グリチルリチン酸2K、グリセ
日局	プロモベリル尿素……………400mg	リン酸Ca、パレインショテンブ、黄色4
日局	無水カフェイン……………200mg	号(タートラジン)、香料を含有する。

保管及び取扱上の注意

- (1)直射日光の当たらない湿気の少ない涼しい所に保管すること。(2)小児の手の届かない所に保管すること。(3)他の容器に入れ替えないこと。(誤用の原因になったり品質が変わる。)(4)1包を分割した残りは、袋の口を折り返し残量を記載して保管し、2日以内に服用すること。(5)使用期限を過ぎた製品は服用しないこと。

製造販売元 大和合同製薬株式会社
奈良県橿原市川西町632-1

お問い合わせ先
0744(27)3325



[illegible]

23.01

頭痛/咽喉痛

4 "969726"000212

第②類医薬品

大和合同製薬株式会社
奈良県橿原市川西町632-1
お問い合わせ先0744-27-3325
8包入
解熱鎮痛薬

44-1555

興

豐秋申

點點

用法及び注意 大人は以上1回1包、8歳以上15歳未満1回1/2包、3歳以上8歳未満1回1/4包、3歳未満は服用しないこと。
小児は1日1回を限度として、午後7時(空欄)までは服用しないこと。授乳期の指掌書にものみのみ服用すること。

▲使用上の注意

※**【してはいけないこと】**（字などいと現在の症状が悪化したり、副作用・事故が起こりやすくなる）1. 次の人は服用しないこと。（1）本剤又はこの剤の成分によりアレルギー症状を起こしたことがある人。（2）本剤又は他の解熱鎮痛薬、かぜ薬を服用してぜんそくを起こしたことがある人。（3）本剤を服用しているとき、次のいずれの医薬品も服用しないこと。他の解熱鎮痛薬、かぜ薬、鎮静薬、夢酔仙酔薬、3 剤前後、夢酔仙酔薬の運送後経過しないこと。（服薬表があらわれること）とある。1 期田前後は飲酒しないこと。5 是期運田しないこと。

 相談すること

問われる。(3)授乳中の人。(4)水痘(水ぼうそう)若しくはインフルエンザにかかったり又はその疑いのある乳児・小児(15歳未満)。⑤高齢者。(6)薬とともによりアレルギー症状を起こしたことがある人。(7)次の診断を受けた人。心臓病、腎臓病、肝臓病、胃・十二指腸潰瘍。**2**服用後、次の症状があらわれた場合は副作用の可能性があるので、直ちに服用を中止し、この薬を持って医師、薬剤師及び登録販売者に相談すること。皮膚：発疹、発赤、かゆみ／消化器：吐き気・嘔吐、食欲不振／精神神経系：めまい。その他：温度の低下など。それ以上の重篤な症状が生じたりあるいは、その場合には医師に連絡の上服用を中止する。

症状の名称	症 状
シュウク (アノフィキシー)	顔用後すぐに、皮膚のかゆみ、じんましん、声のかすれ、くしゃみ、のどのかゆみ、息苦し、動悸、 意識の混濁等があらわれる。
皮膚粘膜眼症候群 (スティーブンス・ジョンソン症候群)、 中毒性表皮剥離症候群、 急性汎発性発疹性膿疱症	高熱、目の充血、目やに、唇のただれ、のどの痛み、皮膚の広範囲の発疹・発赤、赤くただれた皮膚 はよく見えないフツツ(小膿疱)が出る。全身がだるい、食欲がない、食味が低下することが特長だし、急激に悪 化する。
薬剤性過敏症候群	皮膚が広い範囲で赤くなる。全身性の発疹、発熱、体が重い、リンパ節(首、わきの下、股の下、股の 付け根等)の腫れ等がある。
肝機能障害	発熱、かゆみ、発赤、黄疸(皮膚や白目が黄色くなる)、褐色尿、全身のだるさ、食欲不振等があら われる。
腎障害	発熱、発疹、尿量減少、全身のむくみ、全身のだるさ、関節痛(節が重く痛む)、下痢等があらわれる。
間質性肺炎	肺病を上げると、少し無理をしすぎると息切れがする。息苦しくなる。空咳、発熱等がみられ、 これが原因とあらわされたり、持続したりする。
せんじけ	息をするとき急にざーざー、ヒューヒューと鳴る。息苦しい等があらわれる。

3. 服用後、次の症状があらわれることがあるので、このような症状の持続又は増強が見られた場合には、服用を中止し、この箱を持って医師、薬剤師又は登録販売者に相談すること。眠気 4.5～6回服用しても症状がよくならない場合は服用を中止し、この箱を持って医師、歯科医師、薬剤師又は登録販売者に相談すること。

8 包入(1 包 1g)

使用期限

 箱

7790-818Y

0010-0756

第②類医薬品

頭痛/咽喉痛